

15 名古屋市民の森づくり

- 【期 日】 令和元年 10 月 17 日（木）10：40～16：40
【会 場】 木祖村内（水木沢天然林～こだまの森～味噌川ダム～藪原宿）
【参加者】 名古屋市民 30 名、名古屋市職員 5 名、木祖村 2 名、木曾広域連合 3 名
【内 容】 以下の通り

平成 30 年 5 月に完成した名古屋城本丸御殿については、その復元事業の一環として平成 21～30 年度にかけて「平成の名古屋市民の森づくり」事業が行われ、木曾町戸立町有林においてヒノキや広葉樹など 7 千本を超える苗木が植えられてきましたが、今年度からは育樹活動として継続することとなりました。

名称も「名古屋市民の森づくり」と改められ第 1 回目となる今回は、午前中に育樹作業、午後は木祖村での観光散策を計画していましたが、本年 7 月以降木曾郡内で豚コレラウイルスに感染したイノシシが相次いで発見され、郡内で秋季の育樹活動の受け入れを中止する事例が相次いだことから内容を一部変更し、終日木祖村内での観光散策として実施しました。

当日は名古屋市民 30 名が参加し、10：40 に水木沢天然林に到着、開会セレモニーが行われ、主催者代表として名古屋市観光文化交流局の松雄局長より挨拶をいただいたあと、2 班に分かれて「太古の森コース」歩きました。地元 NPO「木曾川・水の始発駅」のガイド 2 名にご協力いただき、水木沢に自生する樹木や昭和初期まで利用されていた森林鉄道について解説いただきながら、約 90 分間の散策を楽しんでいただきました。

その後、こだまの森へ移動して昼食時間となりました。到着の際は地元木祖村の唐澤村長が出迎えられ、「毎日皆さんが使っている水が生まれるこの村に来ていただき本当にありがたい。名古屋とは切っても切れない関係。これからも水が生まれる村の自然とダムを守っていききたい」と歓迎のあいさつをいただきました。昼食ではこだまの森特製のお弁当と地元でとれたキノコ汁がふるまわれ、参加者の皆さんに大変喜ばれました。

午後は味噌川ダムへ移動し、ふれあい館を見学しました。ふれあい館の 2 階にはダム周辺生物（イワナの生体展示や鳥類の木像展示）のほか、ダムの建設過程の映像やジオラマ、木曾川流域の衛星写真などが展示されており、職員の解説を聴きながら見学されていました。

散策の最後は、藪原宿の街並みと木祖村郷土館の見学を行いました。街並みの見学では木祖村商工観光課の巢山主査にご協力いただき、宿場の遺構やアート活動など現在の取り組みについてお話しいただきました。郷土館では、お六櫛保存会の北川聰さんにより櫛引きの実演が行われ、参加者は 1 本ずつ手作業で細かい櫛の歯が入れられていく工程に見入っていました。

最後は、道の駅「木祖村源流の里きそむら」でお買物と休憩をとり、16：40 頃、名古屋に向けて出発されました。



開会セレモニー（水木沢）



松雄局長あいさつ



水木沢散策



水木沢散策（ガイドによる解説）



唐澤村長による歓迎あいさつ



味噌川ダムふれあい館見学



木祖村郷土館（お六櫛実演）



藪原宿町並散策